

復活節第6主日・(白)

主日礼拝

2025年5月25日 10時20分～

司式:

奏楽:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます！ ■■■

「こう祈りなさい」

『列王記上』では、主なる神の預言者エリヤが、大勢のバアルという偶像の預言者たちと対決します。それぞれに雄牛を薪の上に載せ、火をつけずに祈る。火をもって答える神こそ、まことの神であるということが証明されるのです。バアルの預言者たちは朝から晩まで祭壇の周りを跳び回り、大声を張り上げ、剣や槍で身を傷つけるのですが、何の反応もありません。次はエリヤの番です。供え物の上や周りに水を注いでから、ひと言だけ祈るのです。「主よ、お答えください。そうすればこの民は、主よ、あなたが神であり、彼らの心を元に戻したのがあなたであることを知るでしょう」と。すると、主の火が降り、供え物を焼き尽くします。

『マタイによる福音書』では、“山上の説教”の中で、主イエスが祈りの仕方について教えられます。父なる神は、わたしたちが願う前から必要なものは何かをご存じなので、くどくどと述べるのではなく、短く祈るようお話になった後、“主の祈り”を教えられます。天の神を父として呼びかけ、まず神のために祈り、続いてわたしたちのために祈るのです。これは主イエス御自身の祈りを、わたしたちにも教えてくださったのですから“主イエスの祈り”なのです。わたしたちが“主の祈り”を祈る時、主イエスがわたしたちと一緒に祈ってくださいます。神の独り子でいらっしゃる主イエスが共に祈ってくださるのですから、父なる神は喜んで聴いてくださり、願いを叶えてくださるのです。“主の祈り”をいつも祈る時、主イエスの祈りが、わたしたちの祈りになります。そして、神の民とされていることを喜ぶことができるようになるのです。

《神の招き》

前奏 『祈り』J.N. レンメンス
招詞 詩編50編7節
賛美歌 21-492

《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖書 列王記上18章30～39節 (旧約550頁)
マタイによる福音書6章5～15節 (新約9頁)

こども説教
交読詩編 詩編95編1～11節 (113頁)

賛美歌 新聖歌285
説教 「こう祈りなさい」 八木浩史牧師

祈禱
賛美歌 21-532

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
献金
祈禱 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 21-24
祝福
報告
後奏

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: